



# 行政書士しが

発行所 滋賀県行政書士会  
发行人 井上超由／編集人 奥野慎太郎  
所在地 滋賀県行政書士会館  
〒520-0056  
大津市末広町2-1 (JR大津駅前徒歩1分)  
TEL(077)525-0360・FAX(077)528-5606  
E-mail : shigakai@gyosei-shiga.or.jp  
URL : http://www.gyosei-shiga.or.jp/

## 行政書士として、身边に存在しつづけるために

副会長 神山 由美子

今期、副会長を拝命いたしまして早半年が過ぎました。この半年間は、まず当会組織内における事業への取り組みとその実情等をよく知ること、また、会務運営に関する会長の方針を理解するとともに、自らの立ち位置や役割を模索しながら微力ではありますが使命感を持って、また、折々に自分なりの意見も忌憚なく発言させていただきながら務めさせていただいているところでございます。会務運営につきましてはまだまだ勉強不足ではあります、組織においては総務部および法規監察部を担当させていただいております。日頃、各部や部会、委員会等の事業に携わっていただいている役員や会員各位が自らの業務時間を割いて会務運営に当たっていただいているご努力や事務局の細やかな対応に敬意と感謝の気持ちを抱きながら、自分自身も副会長として、どう会員の皆さまのお役に立つことができるか今後も常に考えながら行動してまいりたいと考えているところです。

さて、私事ではございますが、行政書士になり15年が過ぎました。この間専業でやってまいりましたが、主として取り扱う業務の性質上その日与えられた仕事を時間内にいかに効率よく間違いなくこなせるかということに必死で、日々時間に追いついてられながら過ごしてきました。そのような日々の中で、行政書士としてどうありたいかとか、行政書士としてどこへ向かっていきたいなど漠然とした理想や将来への思いはあるものの、じっと立ち止まって自身と対峙してみる時間も持たず過ごしてしまったように思います。このたび、本紙面に執筆の機会をいただき、本来ならば会務に関する取り組みや会員の皆さまにお伝えすべき事項等について述べさせていただくべきところではあります、このたびは勝手ながら自分が考える行政書士のこれからについて、私感ではございますが今思うところを述べさせていただきたいと思います。

皆さま十分ご承知のとおり、近ごろは情報化社会の発展によりあらゆる場面において速度が増し、これに伴う制度変革により行政書士業を取り巻く環境は刻々と変化しております。特に歴史的に先輩方が長年にわたり尽力され築いてこられた主要業務の分野においてITの活用が進められていく中で、われわれ行政書士は士業として生き残れるか危機的状況であることも確かです。このような現実に立ち向かい行政書士の職域を守りさらに拡大で

きるよう対応していくには組織を挙げての取り組みが必要であり、組織力を高めていくためにはまず構成員である行政書士個々が日々努力を重ね能力の向上を図り、様々な状況に対応していく柔軟性を身につけなければならない感じます。

先日、本年度当会が当番会を務める滋賀自由業団体連絡協議会主催の無料相談会を総務部が担当し開催いたしました。他士業との連携で毎年開催されている事業で、今年度は相談件数も多く大変盛況に終えることができましたが、この相談会で特に実感し自信を持った点は、われわれ行政書士の柔軟な対応力と守備範囲の広さです。相談員として参加してくださった会員には大変ご活躍いただきました。このような相談会においては、相談内容によってどの士業にご担当いただか明らかな案件は別ですが、事情が複雑な案件ほど行政書士の能力が求められ出番があることを実感いたしました。それほど行政書士の業務範囲は広く他士業では対応いただけない範疇までその能力を発揮できるところに改めて自信を持った次第です。そして、そのことはどの士業より国民の一番身近な位置に存在できる士業であると言えると思います。行政書士として、その職域を確保していくことについての課題は多くありますが、日々危機感は持ちながらも決して恐れることなく自信をもって、今後も行政書士の存在を身边に感じていただけるような活動を続けながら、積極的に社会にアピールしていく必要があると感じます。のために身につけておくべき行政書士としての武器は、プロとして業務に精通していることはもちろんですが、やはり、人の話を根気よく聞ける姿勢であったり、人の事情を理解できる想像力であったり、人のために全力を尽くす使命感であったり、人間力そのものであると思います。

このたびは個人的な考え方を述べさせていただきましたが、組織においては、会員の皆さまが動かしてくださる滋賀会という船の舵取りを担っていただくのが会長ならば、そのエンジンが効率よく機能するための潤滑油のような役割を果たせるよう副会長として努力してまいりたいと思っております。そして、その船が沈むことなく更に速度を上げ目指す場所に辿りつけるよう、今後とも乗組員である会員の皆さまのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げる次第です。